

東日本大震災 2011年(平成23年)3月11日午後2時46分(マグニチュード9・0)

NO112

各位

2020年2月11日(火)

桜丘高等学校 生徒会

孫便りの会(IAクラブ)

～今日で東日本大震災から8年11ヶ月が経過～

東日本大震災が発生して8年11ヶ月が経過しました。震災発生当初より「街の復興」と同時に「心の復興」を確りと掲げ、現地の人たちとの最初の出会いでは「これから10年は必ず支援し続けますよ！」と約束をして、今まで支援を続けてきました。確かに、私たちに出来ることは小さなことかもしれないが、続けること・繋げることで出来ることがあると信じて、現地の人たちとの交流を続ける中、被災地の状況を書き、豊橋市の人達に配布し続けてきた1500枚のチラシの発信が現地にも届くようになってきました。感謝です！

～臨時船「ひまわり号」を震災遺構に！～

震災から9年近くが経過して気仙沼大島にも橋が架かりフェリーも無くなり、震災の記憶も薄れていくことに対して、「未来に確りと繋いでいきたい、いくべき！」との強い思いから、気仙沼大島でも島の大切な足でもあり、あの津波を乗り越えて助かった臨時船「ひまわり号」(中学の道徳の教科書にも掲載)を震災遺構として残そうという動きがあります。その動きに対して、私たちも何らかの協力が出来ないかと豊橋東ロータリークラブさんと今夏に支援の計画をしています。

～3月11日は震災発生9年目の追悼集会です！～

＜豊橋東ロータリークラブさんと合同で実施！＞

震災発生の翌年より豊橋においても続けてきた「東日本大震災追悼集会」ですが、今年で9年目(9回目の追悼集会)となります。今年も豊橋駅前2階デッキ(ペデス・トリアンデッキ)にて午後5時30分頃から和太鼓のふれ太鼓に始まり・黙祷・「鎮魂と希望の太鼓」等の追悼集会を実施しますので、お時間の都合のつかれる方は是非ともご出席くださいますよう、よろしくお願ひ致します。やはり、大事なことは毎年続けているこの追悼集会を「私たちは震災のことを忘れていませんよ、応援していますよ」という被災地へのメッセージを伝えると共に、この豊橋市に住む人たちにも「南海トラフの地震の危険性が叫ばれている今、それぞれ自身の備えは大丈夫ですか？」という啓蒙活動も含めて実施していますので、よろしくお願ひ致します。今年は豊橋東ロータリークラブさんが提唱クラブである「桜丘学園孫便りインターラクトクラブ」となって最初の追悼集会です。